

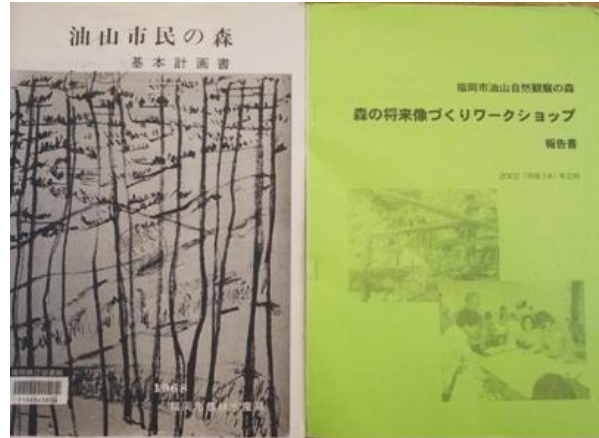
油山の宝物さがし ～計画が語る夢～

森を育てる会では02年に「森を育てる会カブトムシの森保全計画」を作成し、5年ごとに作業や活動を振り返ってきました。施設・管理者・研究者のアドバイスを仰ぎながら作成・更新してきた計画の上位計画が『油山市民の森「カブトムシの森・蝶の楽園」基本計画』でした。基本概念のひとつ「北部九州の二次林の復元」から「油山の二次林（里山）の復元」をキーワードに会は保全計画を考えてきました。

油山の宝物さがし開始を機に市民の森に関する計画書を施設や図書館で改めて閲覧してきましたのでご紹介します。

「油山市民の森基本計画書」では林業振興への熱い思いが語られています。昨年春、施設からカブ森へむかう林道そばでヒノキが伐採、架線集材され、トラックに積載され森を出ていく場面に出会い、林業の場としての油山を実感しました。

また「森の将来像づくりワークショップ」報告書は市民が参加して森を見、将来像を考えた成果



で観察資源としての森の利用案が示されています。カブ森保全計画は直接にはこれを反映することを心がけました。

諸計画の中にはその後の時代の変化：生物多様性の概念の普及、材価低迷等々により見直しが必要な部分もあるでしょう。同時にどの計画も市民に持続的に利用される油山であるようにとの願いのもと、当時の考えが述べられた油山の大切な宝物です。（柴戸）

表：油山市民の森にかかわる計画書等

発行年	名称	発行者
1968	油山市民の森基本計画書	福岡市(福岡県立図書館蔵)
1969	油山市民の森条例	福岡市
1985	油山自然観察の森基本計画等作成業務報告書	福岡市
1992	油山市民の森「カブトムシの森・蝶の楽園」基本計画	福岡市
2002	「森の将来像づくりワークショップ」報告書	福岡市油山自然観察の森